埼玉純真短期大学研究論文集　第８号　PP.45-50

実習における学生の自己評価と実習評価の関係

A Study of Comparison between Student Self Evaluation and Evaluation.

牛　込　彰　彦
（こども学科　教授）

要旨　本研究は，保育者養成校における実習の充実を図るために行われた。素材として幼稚園教育実習および保育所実習における学生の自己評価と実習先からの実習評価を用い，それらを比較検討することにより，実習生の自己評価と客観的評価のずれを探った。また，幼稚園教育実習と保育所実習による差異についても検討を行った。その結果，下位項目のすべての項目において他己評価が自己評価を上回っていた。また，他己評価と自己評価の傾向は類似した傾向にあり，自己認識がある程度できていた。子ども理解や保育技術における自己評価は幼稚園実習よりも保育所実習の方が低いことなどが分かった。

【キーワード：実習　自己評価　実習評価**】**

Ⅰ　はじめに

幼稚園教諭免許状を取得するためには，学内での講義の他，実際の教育の現場における実習が必須となっている。本学においては教育実習として4週間の実習を現場で行うこととなる。また，保育士資格を取得するためには，学内での講義の他，実際の保育や養護の現場における実習が必須となっている。保育実習ⅠおよびⅡとして272時間の実習を現場で行うこととなる。実習にあたっては，両実習とも事前および事後指導として時間を確保し指導しているが，十分な指導が出来ているか否かは，現場からの評価が物語ることとなる。

本研究では，実習における実習生の自己評価と実習先からの実習評価の差異を考察することにより，学生の自分自身に対する自己認識の傾向を知るとともに，実習指導への示唆を得ることを目的として行った。また，各実習指導におけるきめ細かい指導をするための示唆を得るために幼稚園教育実習と保育所実習において差異があるか否かについても検討を行った。

Ⅱ　方法

調査対象：平成25年度の本学における2回生80名（幼稚園教育実習のデータ）および平成23年度の2回生57名（保育所実習のデータ）

調査対象の学生はこども学科乳幼児保育コースに所属し，保育士資格と幼稚園教諭二種免許状の取得を目標としている。本学では，1年次9月に幼稚園教育実習（前期：1週間），1年次2月に施設実習（12日間），2年次5月に幼稚園教育実習（後期：3週間），2年次7月に保育所実習（前半：11日間),同9月に保育所実習（後半:11日間）を行っている。

材料：図1は，本学で使用している幼稚園教育実習評価表および保育所実習評価表である。

幼稚園教育実習評価表においては4つのカテゴリーと20の下位項目からなっている。また，保育所実習評価表は4つのカテゴリーと15の下位項目からなっている。今回，幼稚園教育実習と保育所実習の差異についても検討するため，下位項目に関しては，類似している15項目をデータとして採用した。

以下は，データとして採用した4つのカテゴリーと15の下位項目である。

Ⅰ実習態度
1　仕事に関して責任感や積極性がある（以下責任感という）
2　明るさや協調性（以下明るさという）
3　挨拶や正しい言葉遣いができる（以下挨拶という）
4　勤務上の諸注意を守る（以下勤務という）

Ⅱ子ども理解
1　発達段階の理解（以下発達段階という）
2　子ども一人ひとりの個性の把握（以下個性の把握）という
3　子どもの友達関係の理解（以下友達関係の理

幼稚園教育実習評価表

埼玉純真短期大学

こども学科	コース	実習幼稚園名	
学籍番号			
実習生名		園長氏名	印
実習期間	年 月 日～ 月 日 年 月 日～ 月 日	指導教諭氏名	印

項目	内容	評価 5	4	3	2	1
実習態度	実習状況（出勤時間，挨拶，身だしなみ，言葉づかい等）は適切である。					
	実習日誌や指導案等の提出物の期限や指示内容を守る。					
	適切な学習意欲・責任感等を持って取り組む。					
	明るさや協調性を持って取り組む。					
	勤務上の諸注意を守って行動する。					
	必要な職務内容を学ぼうとする。					
子ども理解	子どもの遊びへの理解					
	子どもの仲間関係への理解					
	子どもの発達段階への理解					
	子ども一人一人の興味・関心や活動の背景への理解					
	子どもの理解の仕方への工夫					
保育技術・保育計画	子どもへの接し方・関わり方が適切である。					
	言葉掛けや説明の仕方が適切である。					
	指導計画への取り組みとその遂行力，反省・評価は適切である。					
	教材や用具の準備，環境整備等への取り組みは適切である。					
教師としての資質	教育方針への理解や保育に対する研究心・向上心，創意工夫等がある。					
	情緒・感情が安定している。					
	誠実さや積極性がある。					
	適切な自己洞察力がある。					
	表情の豊かさや子どもへの愛情，思いやりがある。					
総合評価	（実習全体を通しての総合的な評価）					
総合所見						

【評価の方法・目安】 5段階評価で，該当するところに○印をご記入ください。
（5「優れている」，4「やや優れている」，3「普通」，2「やや劣る」，1「劣る」）

出席すべき日数	出席日数	欠席日数		遅刻	早退
20 日 （前半・後半合計）	日	病気	日	回	回
		事故	日	理由：	理由：
		その他	日		

保育実習評価表

短期大学

保育所(園)名		所長(園長)名	印
		実習担当者名	印
学籍番号		実習期間	前半：平成 年 月 日～ 月 日 後半：平成 年 月 日～ 月 日
実習生氏名			

項目	評価 5	4	3	2	1
実習態度	仕事に対して責任感や積極性がある					
	明るさや協調性					
	挨拶や正しい言葉遣いができる					
	勤務上の諸注意を守る					
子ども理解	発達段階の理解					
	子ども一人ひとりの個性の把握					
	子どもの友だち関係の理解					
保育技術	子どもとのかかわり方					
	適切な言葉がけや説明の仕方					
	周到な指導計画と遂行力					
	教材や用具の準備と環境整備					
保育者としての資質	表情の豊かさや子どもへの愛情，思いやり					
	情緒，感情の安定性					
	誠実さや明朗性					
	研究心，向上心や創意工夫					
総合所見	総合評価	優	良	可	不可	

・項目別評価の基準 ： 5－優れている，4－やや優れている，3－ふつう，2－やや劣る，1－劣る
・総 合 評 価 ： 当てはまる評価に○をお付けください。

図１　本学の実習評価表（教育及び保育実習）

解という）

Ⅲ保育技術

1　子どもとのかかわり方（以下かかわり方という）
2　適切な言葉がけや説明の仕方（以下言葉がけという）
3　周到な指導計画と遂行力（以下指導計画という）
4　教材や教具の準備と環境整備（以下教材の準備という）

Ⅳ保育者としての資質

1　表情の豊かさや子どもへの愛情，思いやり（以下表情という）
2　情緒，感情の安定性（以下情緒という）
3　誠実さや明朗性（以下誠実という）
4　研究心，向上心や創意工夫（以下研究心という）

本研究では幼稚園教育実習においては，後期実習（２年次５月）に行く前の段階（２年次５月），保育所実習においては，後半実習（２年次９月）に行く前の段階（２年次８月）において自己評価を行った結果と実習終了後，それぞれの実習先より返送された評価を材料として用いた。評価は15の下位項目に対し５点法を用い，５点を一番高い得点とした。なお，データの一部に欠損があった場合は，そのデータを削除した。

Ⅲ　結果および考察

1　カテゴリー別の比較

表１は４つのカテゴリーにおける自己評価と実習評価（以下他己評価という）の平均であり，グラフにしたものを図２として掲げる。

表1　カテゴリー別の自己評価と他己評価

	保育所（自己評価）	保育所（他己評価）	幼稚園（自己評価）	幼稚園（他己評価）
Ⅰ　実習態度	3.4	4.08	3.67	3.96
Ⅱ　子ども理解	2.71	3.46	3.27	3.4
Ⅲ　保育技術	2.72	3.66	2.98	3.59
Ⅳ　資質	3.13	3.91	3.28	3.77

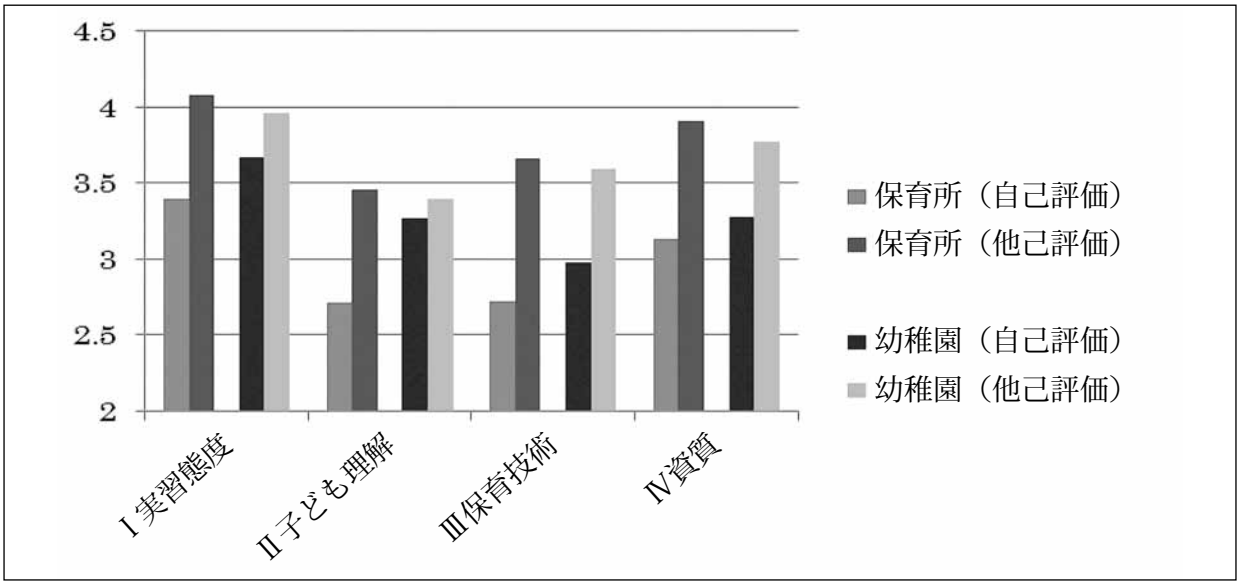

図２　カテゴリー別の自己評価と他己評価

カテゴリーすべてにおいて，他己評価が自己評価を上回っている。このことは，実習生が実習における自己の認識を過小評価する傾向にあると捉えることが出来る。また，他己評価に注目して保育所と幼稚園を比べると，その差は0.2以内に収まっており類似した傾向を示している。

自己評価と他己評価の差に注目するとカテゴリーⅡの子ども理解やカテゴリーⅢの保育技術における保育所実習前の自己評価が目立って低いことが分かる。5月に幼稚園実習を終え，子ども理解や保育技術において自分の力やその難しさを感じたため，低くなったと考えられる。

2　カテゴリー毎の比較

表2はカテゴリーⅠにおける下位項目の平均であり，グラフにしたものを図3として掲げる。

表2　カテゴリー1の自己評価と他己評価

	保育所（自己評価）	保育所（他己評価）	幼稚園（自己評価）	幼稚園（他己評価）
Ⅰ－1　責任感	3.07	3.95	3.43	3.78
Ⅰ－2　明るさ	3.53	3.98	3.69	3.76
Ⅰ－3　挨拶	3.42	4.21	3.85	4.14
Ⅰ－4　勤務	3.57	4.19	3.69	4.14

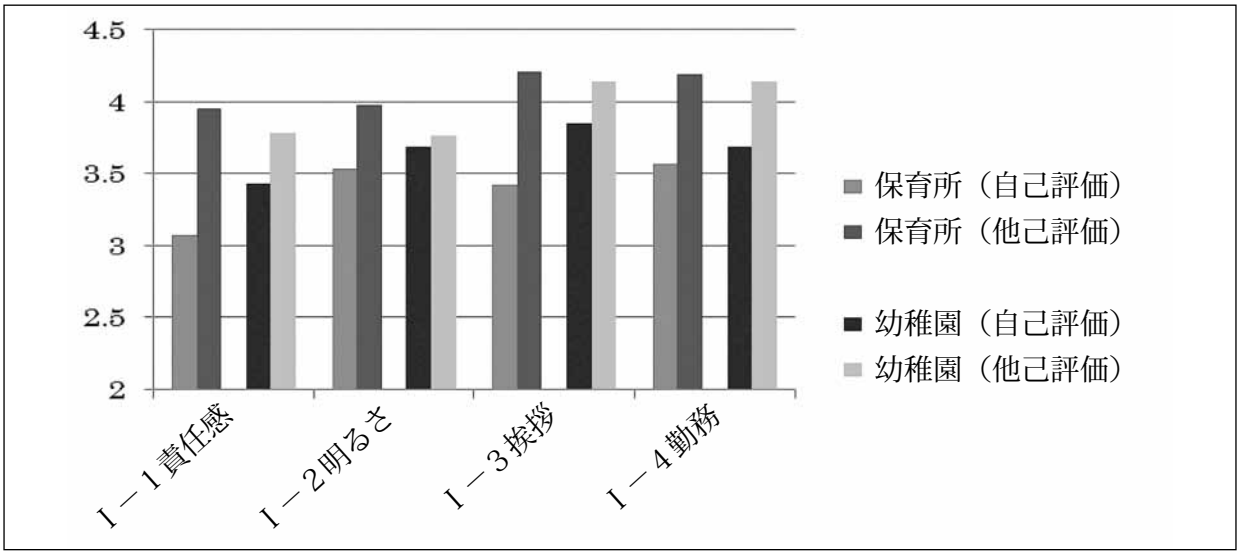

図３　カテゴリー１の自己評価と他己評価

カテゴリーⅠにおける下位項目に関してはすべての項目で，他己評価が自己評価を上回っている。自己評価に着目して比較すると，幼稚園実習に比べて，保育所実習に対する自己評価の方が低くなっている。また，他己評価に着目して比較すると，幼稚園実習における評価よりも保育所実習における評価の方が高くなっている。保育所実習の自己評価が幼稚園実習における自己評価よりも低いのは，保育所実習の方が後に実施されており，幼稚園実習において現場での保育等の難しさに直面し，自身の評価を低くしたと考えられる。これに反して，他己評価は後に行われた保育所実習の方が高くなっている。これは，幼稚園後期実習の３週間を経て，このカテゴリーにおける学生の資質が高くなったことや自己評価を低くしたゆえに，努力したなどが考えられる。

表３はカテゴリーⅡにおける下位項目の平均であり，グラフにしたものを図４として掲げる。

表３　カテゴリーⅡの自己評価と他己評価

	保育所（自己評価）	保育所（他己評価）	幼稚園（自己評価）	幼稚園（他己評価）
Ⅱ－１　発達段階	2.56	3.63	3.18	3.4
Ⅱ－２　個性の把握	2.79	3.39	3.24	3.39
Ⅱ－３　友達関係	2.79	3.37	3.4	3.41

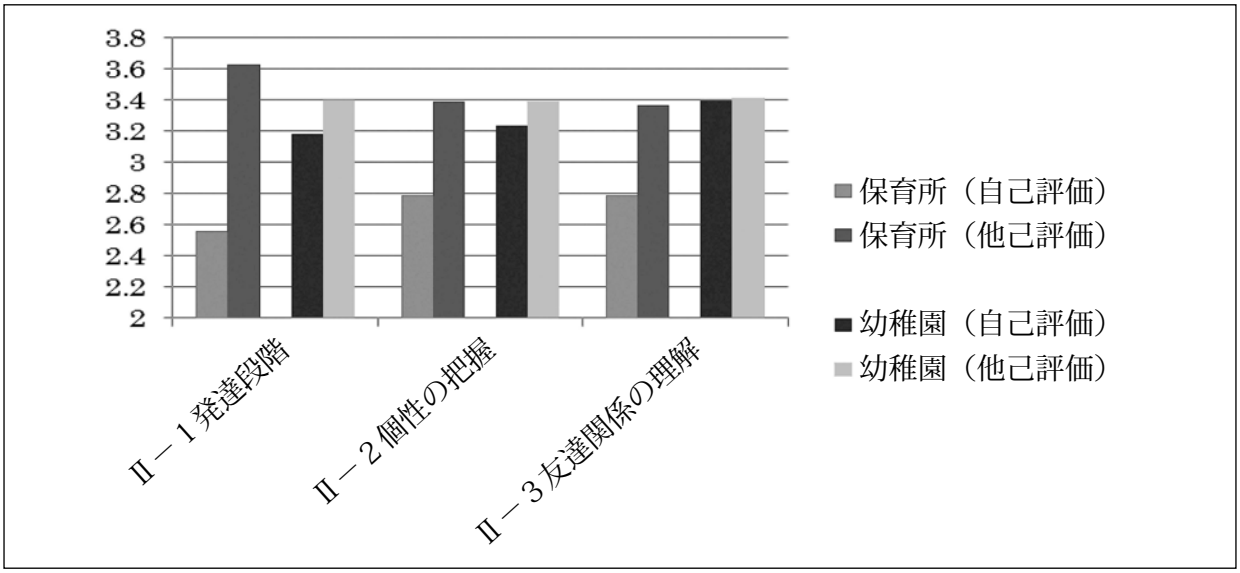

図４　カテゴリーⅡの自己評価と他己評価

保育所，幼稚園の比較において自他の差が大きいのは，どの下位項目でも保育所であり，特に，発達段階においてかなり大きな差がみられる。

このことは，保育所実習における発達段階の理解において学生が大きな不安を持っていると捉えることが出来る。保育園には，０歳から２歳までの乳幼児がおり，それらの保育対象に対する経験がほとんどないことから，低い値を与えたとも考えられる。これらのことより，０から２歳の乳幼児に関する指導の充実を図る必要があると考えられる。

表４はカテゴリーⅢにおける下位項目の平均であり，グラフにしたものを図５として掲げる。

表４　カテゴリーⅢの自己評価と他己評価

	保育所（自己評価）	保育所（他己評価）	幼稚園（自己評価）	幼稚園（他己評価）
Ⅲ－１　関わり方	3.04	3.88	3.4	3.73
Ⅲ－２　言葉がけ	2.58	3.56	2.68	3.36
Ⅲ－３　指導計画	2.47	3.53	2.8	3.55
Ⅲ－４　準備等	2.77	3.68	3.03	3.73

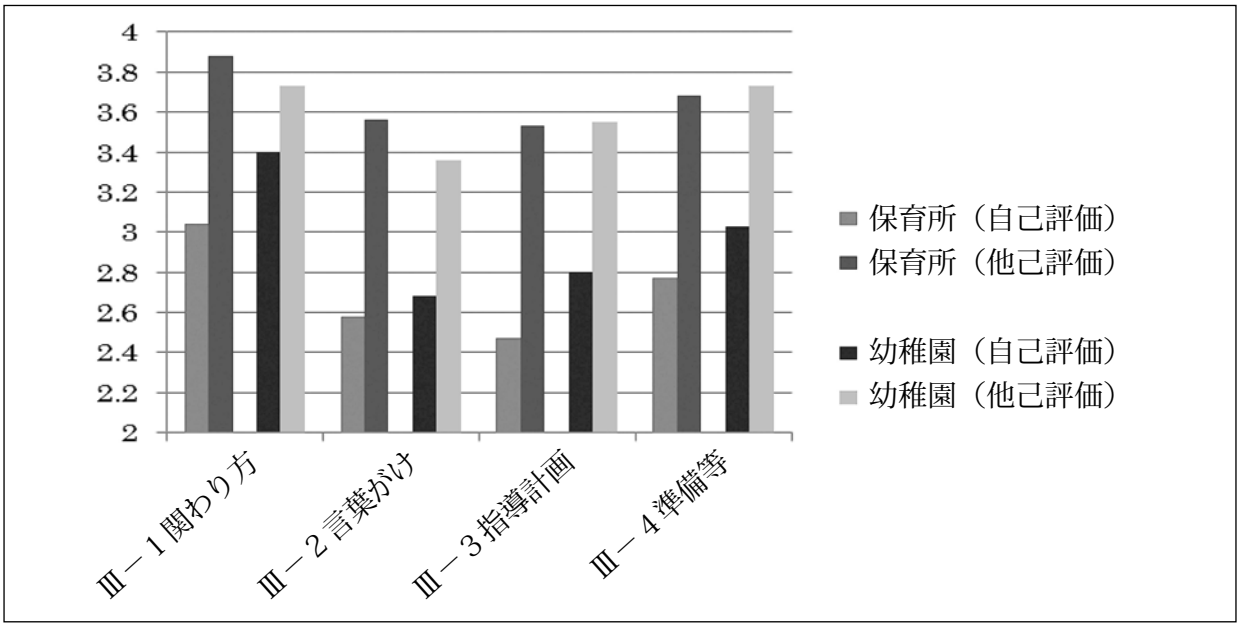

図５　カテゴリーⅢの自己評価と他己評価

保育所，幼稚園の比較において自他評価の差が大きいものは保育所であり，中でも指導計画においてその差が著しい。保育所実習を控えてこの分野に不安を抱いていると捉えることができる。

このことにより指導計画の作成に関する指導を充実させる必要があると考えられる。

同様に言葉がけ等についても指導の工夫が必要と考えられる。

表５はカテゴリーⅣにおける下位項目の平均であり，グラフにしたものを図６として掲げる。

表５　カテゴリーⅣの自己評価と他己評価

	保育所（自己評価）	保育所（他己評価）	幼稚園（自己評価）	幼稚園（他己評価）
Ⅳ－１表情の豊かさ	3.54	3.91	3.61	3.8
Ⅳ－２情緒	3.09	4.05	3.45	3.91
Ⅳ－３誠実さ	3.04	3.91	3.19	3.8
Ⅳ－４研究心	2.86	3.75	2.85	3.55

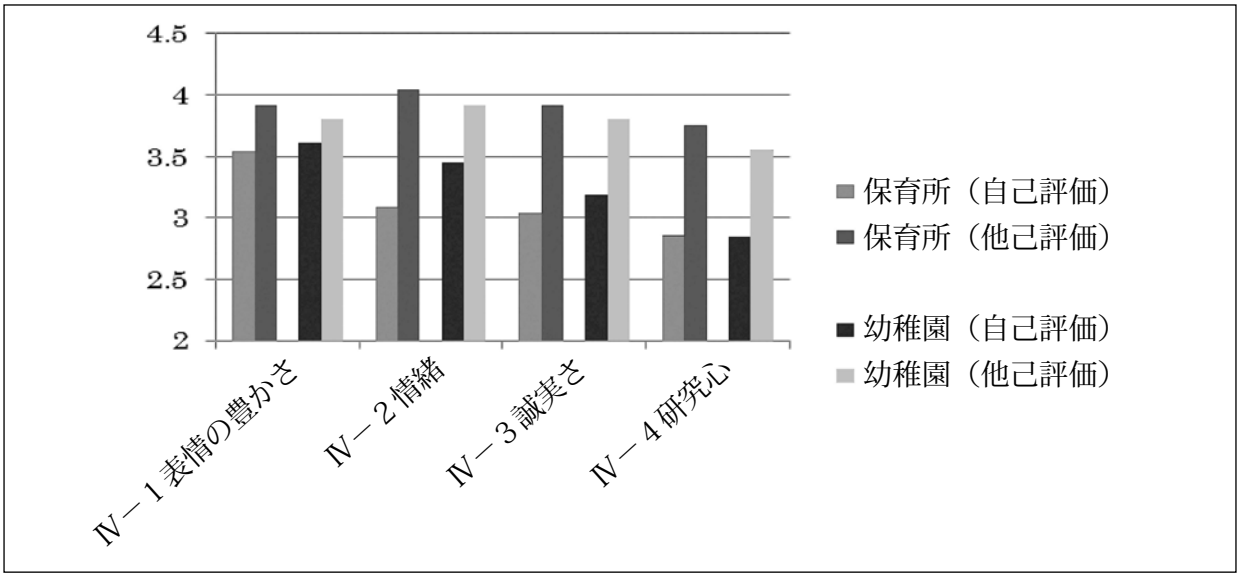

図６　カテゴリーⅣの自己評価と他己評価

各項目における保育所実習と幼稚園教育実習の自己評価を比較すると，研究心はほぼ同じであるが，それ以外の項目は，保育所実習における自己評価が低くなっている。幼稚園実習を終え，やや厳しく自分自身を評価していると考えることが出来る。

Ⅳ　結論

今回，保育所実習と幼稚園教育実習における自己評価と実習評価の関係を分析した結果，次のような傾向があることが分かった。

- 15の下位項目すべてにおいて，他己評価が自己評価を上回っていた。
- カテゴリーにおける自己評価は，他己評価の傾向に類似しており，ある程度自己認識が出来ている。
- カテゴリーⅡ子ども理解，カテゴリーⅢ保育技術における自己評価は幼稚園実習よりも保育所実習の方が低い。
- 保育所においては，特に下位項目である発達段階および指導計画に関する指導の充実が必要である。

今回の知見を今後の指導に活かしていきたい。

参考文献

松本　学　教育実習・保育実習における学生自己評価と幼稚園評価・保育所評価の比較考察
国際学院埼玉短期大学研究紀要　2007，28，p.63－72.

相浦　雅子ほか　保育所実習における学生の自己評価の在り方について
別府大学短期大学部　2011，30，p.75－84.

渡辺一弘　保育所実習における学生の自己評価に関する研究
別府大学短期大学部　2011，30，p.85－92.

亀井　聡　保育実習における実習生の自己評価に関する考察
新島学園短期大学紀要　2007，27，p.133－145.

原　孝成　保育所実習における園評価と自己評価の関係
西南女学院大学紀要　2006，10，p.196－203.

付記

この論文は，平成26年度全国保育士養成協議会研究大会においてポスター発表したものに加筆修正したものである。